

事業の概要

| | |
|---------------|---|
| <p>目的（動機）</p> | <p>・2013（平成 25）年度に廃校となった旧南方小学校では、当時の生徒の親世代を中心に、廃校による地域活力の低下を防ぐため、学校施設を活用した各種イベントが実施されてきました。現在も地域のコミュニティ広場として活用されるなど、地域のにぎわいを維持する取り組みが続けられています。また、地域の青年団「南風会（なんふうかい）」も、現地で夏祭りやボランティアイベントを開催するなど、地域活性化のための活動を継続しています。</p> <p>・こうした中、廃校から 10 年という節目を迎え、広島市へのアクセスの要所に位置し、耐震化も施された校舎を有する旧南方小学校のさらなる有効活用を図るため、地域内外の有志（※1）による提案により、「旧南方小学校再生プロジェクト」が立ち上げられました。このプロジェクトでは、地域課題の解決に向けた事業拠点として廃校施設を活用し、人や企業を呼び込むことで地域のにぎわいを創出し、それを町全体へと波及させることを目指しています。</p> <p>※1 ・一般社団法人 Creative Response Social innovation school (SIS) 卒業メンバー(名簿に記載) SIS・・・学長：一橋大学名誉教授 米倉誠一郎 概要:想像力と創造力に富んだソーシャル・イノベーションを推進する人材育成 ソーシャル・イノベーションの開発と実践で社会的課題の解決をする URL： https://web.cr-sis.com/</p> |
| <p>事業内容</p> | <div data-bbox="557 1171 1270 1518" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">旧南方小学校校舎</p> <p>・「旧南方小学校再生プロジェクト」では、将来的な展開も視野に入れつつ、次の 3 つの主要な地域課題の解決を目指す事業拠点としての活用を計画しています。本プロジェクトでは、事業の担い手となる人材や企業の誘致、ならびに事業展開に必要な施設の改修に取り組んでいきます。</p> <p>・主要事業の内容は以下のとおりである。</p> <p>1 FOOD・イベント事業</p> |

高齢化に伴うにぎわいの喪失

- ・子供から大人まで集える場(よりどころ)を創出
- ・コミュニティスペースの活用で誰でも憩いの場として活用できるスペースの確保



高齢化に伴うにぎわいの喪失
・子供から大人まで集える場を創出。

2 アート・カルチャー事業

3 サテライトオフィス事業



活用されていない絵画

ダンスや音楽活動の場の不足

- ・教室を利用して作品を見ていただけるギャラリーを作る。
- ・良質な音響空間を作り充実した活動の場とする。

ひと・企業不足

- ・サテライトオフィス&シェアオフィス&コワーキング事業で、ひと・企業を呼び込む。
- ・企業のノウハウと地域課題のマッチング。

【これまでの取組】R7年度

- 地域団体と協議を進め、協力体制を強化
- 地域イベントへの協力・共催（夏祭り、文化祭、BBQ等）
- 地域外への情報発信（イベント出店やSNSでの発信）
- 市内保育園の園児や保護者を招き、体験イベント実施
- 地域内企業による懇親会等での活用
- コミュニティスペースやアート・カルチャー教室の改修工事
- 上記スペースとサテライトオフィス構想の部屋へエアコン工事
- 玄関の改修（玄関前スロープ工事含む）

○カフェ利用に関して(2025.05 オープン～2026.03)

来客数 約 2,000 名
売上高 約 260 万円(税抜き)

○カフェ以外のイベント集客に関して

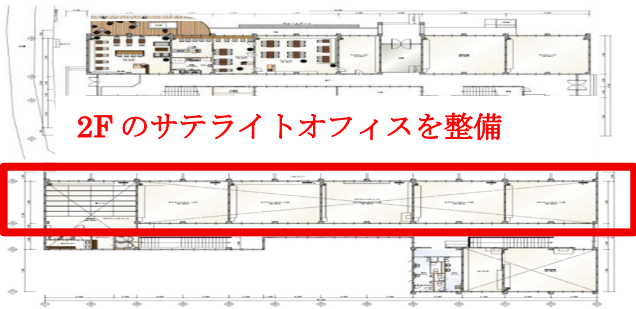
来客数 延べ 1200 名以上

※原資となる“ふるさと寄附”については、目標 10,000 千円に対して 17,374 千円余りの実績となった。

合計寄付者数は 91 件で、情報開示の寄付者住所のうち広島県が 14 件 (45%)、次いで大阪・福岡・東京が 3 件ずつ(各 10%)、その他は、宮崎・新潟・神奈川・富山・北海道であった。また、町外住所者は 99%で寄付金額も 99%となり、関心の深さと期待されている事業として改めて認識した。(基本的に町内住所者には寄付営業は行っていない。)

【今年度の取り組み】R8年度

○ FOOD・イベント事業

| | |
|-------------|--|
| | <p>市内保育施設の園児や保護者に定期的(年3回を予定)に来場いただき、地域住民との交流や体験活動の実施。 夏祭りなどの地域イベントへ協力し、関係人口の増強等を実施。</p> <p>② アート・カルチャー事業 貸し会議室・スペースとして利用できる場がある事を発信し、展示会や習い事教室を募集・誘致を進める。</p> <p>③ サテライトオフィス事業 企業の誘致活動を強化し、必要な施設改修を行ったうえで、サテライトオフィス事業を開始します。</p> <p>【全体事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度のメインは③のサテライトオフィス事業であり、必要な施設改修の実施と誘致活動となります。 ・各事業については、専門的なコンサルティングの支援を受けながら進めていきます。 ・事業間の相乗効果を最大限に発揮できるよう、経営面におけるコンサルティングも併用します。 ・これらのコンサルティングの成果を踏まえ、本格的な運用に向けた体制整備を進めていきます。  |
| <p>成果見込</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業の運用開始により、本団体が掲げる「地域の活性化」および「地域内外の人・コト・情報の交流」という活動目的の達成に向け、取り組みを本格化させることが可能となります。 ・施設という“場”が整うことで、地域住民は多様な人々との交流を通じて、生きがいや幸福感を実感できるようになります。また、進出する企業や団体にとっても、農業や労働力不足といった地域課題に取り組む中で、新たなビジネスチャンスを見出す場となり、共創の理念のもとで具体的な運営が進展していきます。 ・この拠点は、シニア層の雇用の創出や、地産地消をはじめとした地域内経済循環の形成にも寄与します。 ・さらに、イベントの開催を通じて、地域住民同士の交流はもちろん、地域資源の有効活用や、地域外の人々との新たなつながりを生み出す場としても活用されます。 |
| <p>成果指標</p> | <p>カフェの利用者数 2,000人 売上目標 300万 アート・カルチャースペースの利用者数 700人 100万 交流イベント開催数及び来場者数 1,000人 売上目標 300万</p> <p>サテライトオフィスを開始し賑わい・交流の場の創出 誘致活動企業数 30社 入居企業数 3社 家賃収入 20万 交流イベントへの参加企業数 10社</p> |

| | |
|------------------------------------|---|
| <p>スケジュール</p> | <p>2026年6月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修計画の検討開始 ・事業申請および町・関係機関との打ち合わせ <p>2026年7月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携した広報活動の開始（SNS等） ・ふるさと納税サイトでの掲載に向けた協議（特設サイト開設） ・サテライトオフィス誘致活動の開始 ・コンサルティング委託の開始 <p>2026年8月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税寄附募集開始（～12月末まで） ・寄附営業の開始（関係機関と連携し個別対応） <p>2026年12月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税寄附申込締切 ・サテライトオフィス工事着手 |
| <p>ふるさと寄附での目標金額到達のためのプロモーション内容</p> | <p>2026年4月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業申請の実施、および町・関係機関との打ち合わせ <p>2026年7月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携した広報活動の開始（SNS等） ・ふるさと納税サイトでの掲載に向けた協議（特設サイトの開設） <p>2026年7月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税寄附受付開始（～12月末まで） ・関係機関と連携した個別寄附営業の開始（以降継続） |